


2019年2月期第1四半期決算

<参考資料>

2018年 6月28日

くらしの「あたらしい幸せ」を究明する。

 J. FRONT RETAILING

2018年度1Q 連結業績(IFRS)

 J. FRONT RETAILING

- ▶ 百貨店事業および不動産事業が牽引し、本年度スタートとして順調に推移
- ▶ 事業利益2桁増益、営業利益は前年不動産売却益反動があるも微増益を確保
- ▶ 事業利益、営業利益、親会社所有者帰属四半期利益ともに4月予想を据え置き

(単位:百万円、%)

2019年2月期	1Q			上期		
	実績	対前年		見通し (4月予想)	対前年	
		増減高	増減率		増減高	増減率
総額売上高	269,879	Δ5,181	Δ1.9	557,000	Δ1,304	Δ0.2
売上収益	111,073	Δ3,011	Δ2.6	234,000	Δ510	Δ0.2
売上総利益	51,745	319	0.6	106,300	1,312	1.2
販売管理費	39,449	Δ964	Δ2.4	82,000	Δ210	Δ0.3
事業利益	12,295	1,283	11.6	24,300	1,522	6.7
その他の営業収益	983	Δ1,835	Δ65.1	1,100	Δ4,586	Δ80.7
その他の営業費用	280	Δ558	Δ66.5	1,400	Δ384	Δ21.6
営業利益	12,998	6	0.0	24,000	Δ2,680	Δ10.0
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	8,342	Δ378	Δ4.3	15,300	Δ1,015	Δ6.2

1

2018年度1Q セグメント情報(IFRS)



- ▶ 百貨店事業は都心店がインバウンド、富裕層消費活発により好調に推移
- ▶ 不動産事業は、GINZA SIX、上野FTフル寄与、神戸店周辺店舗移管も上積み
- ▶ パルコ事業は前年の大津パルコに関する引当金戻入反動などにより減益

(単位:百万円、%)

2019年2月期 1Q	事業利益			営業利益		
	実績	対前年		実績	対前年	
		増減高	増減率		増減高	増減率
百貨店事業	6,674	924	16.1	6,850	△220	△3.1
パルコ事業	2,283	△524	△18.7	2,750	△747	△21.4
不動産事業	1,565	1,082	223.5	1,607	1,170	267.3
クレジット金融事業	734	△87	△10.7	738	△83	△10.1
その他	733	△282	△27.8	725	△280	△27.8
合計	12,295	1,283	11.6	12,998	6	0.0

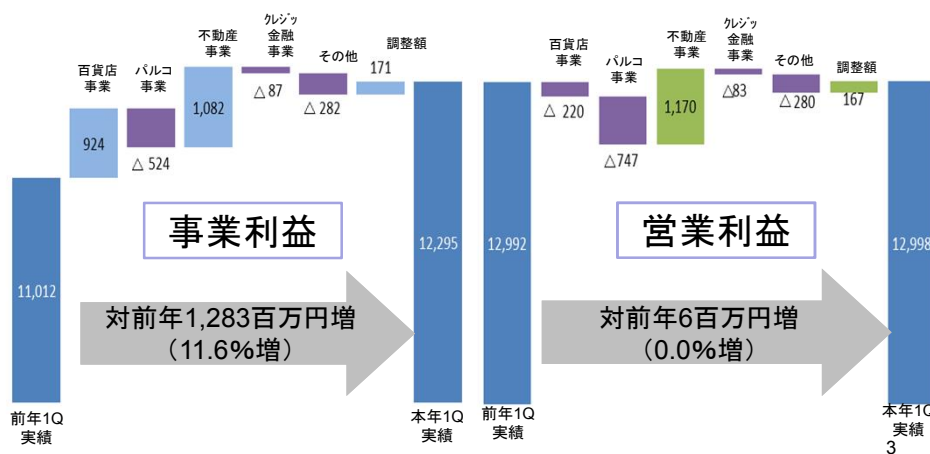
2

2018年度1Q セグメント情報(IFRS)



2018年度1Q 連結 セグメント別事業利益・営業利益増減分析

(単位:百万円)



2018年度1Q 大丸松坂屋百貨店(IFRS)



- ▶ 総額売上高は、インバウンド、富裕層消費が牽引。既存店15ヶ月連続増収
- ▶ GINZA SIX、上野FT開業フル稼働。神戸店周辺店舗は不動産事業に移管
- ▶ 事業利益は百貨店2桁増、不動産事業は3倍増、合計では3割増と好調

(単位:百万円、%)

2019年2月期 1Q	百貨店事業			不動産事業			大丸松坂屋百貨店合計		
	実績	対前年		実績	対前年		実績	対前年	
		増減高	増減率		増減高	増減率		増減高	増減率
総額売上高	158,158	4,649	3.0	4,191	1,618	62.9	162,290	6,228	4.0
売上収益	58,966	2,614	4.6	4,143	1,676	67.9	63,050	4,250	7.2
売上総利益	34,708	1,043	3.1	2,198	990	82.0	36,742	1,888	5.4
販売管理費	28,595	105	0.4	632	△92	△12.7	29,063	△132	△0.4
事業利益	6,113	938	18.1	1,565	1,082	224.0	7,678	2,019	35.7
その他営業収益	289	△1,234	△81.0	58	△199	△77.4	347	△1,433	△80.5
その他営業費用	123	△63	△33.9	17	△287	△94.4	140	△350	△71.3
営業利益	6,278	△233	△3.6	1,607	1,170	267.7	7,885	936	13.5

4

2018年度1Q 大丸松坂屋百貨店SG&A



- ▶ コスト上昇圧力が多くの場面であるものの、トータルにおける経費管理を徹底

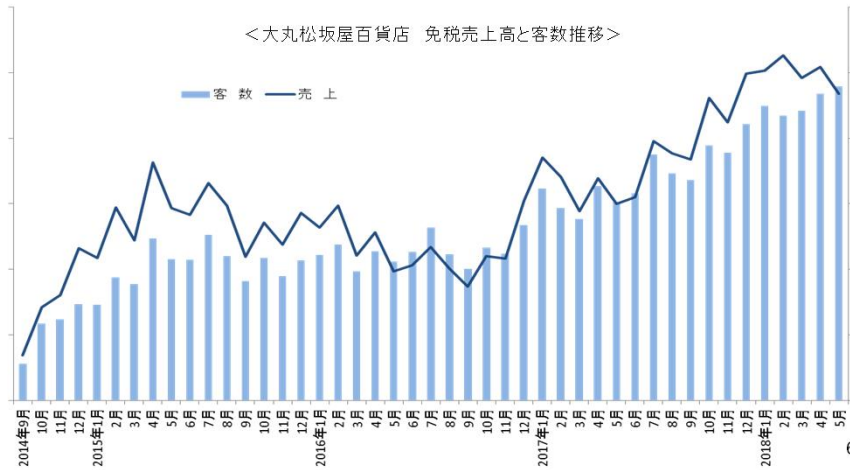
2019年2月期 1Q	実績 (百万円)	増減高 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
人件費	6,357	△75	△1.2	要員構造改革、自然減など
広告宣伝費	2,269	△359	△13.6	前年キンザックス販促、300周年販促反動
包装配達費	358	△72	△16.9	受入送料見直し
賃借料	4,164	△287	△6.4	大丸浦和パルコ店閉店、周辺店舗定借化
減価償却費	2,115	19	0.9	設備投資増(安全安心等)
作業費	2,370	83	3.6	施設作業費、電算運営費など
その他	11,428	560	5.2	消耗品費(光熱水費)などの増
合計	29,063	△132	△0.4	

5

2018年度1Q インバウンド状況



- ▶ インバウンド取り込みを狙った売場改装やモバイル決済対応、販促強化が奏功
- ▶ 免税売上高は1Qで146億円、対前年58.3%増。売上シェアは9%超え
- ▶ 客数は53.2%増、化粧品82.3%増、ラグジュアリー64.4%増、時計83.0%増



Website

<http://www.j-front-retailing.com>

facebook

<http://www.facebook.com/J.FrontRetailing>

くらしの
「あたらしい幸せ」を
発明する。



J. FRONT RETAILING

本資料における業績予測や将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。